Bond Blog 要約版

PGIM FIXED INCOME

エマージング国への見方：国民の空腹を満たすことなく繁栄する国はない

本稿は、PGIM フィクスト・インカムのリード・エコノミストである Giancarlo Perasso、およびグローバル・マクロ経済リサーチ・チームの Elizabeth Doppelt が 4 月 17 日に執筆したブログ “No Country Thrives on an Empty Stomach” の内容を PGIM ジャパン株式会社が要約したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

2022 年 2 月に発行した「エマージング国への見方：最近の食料品価格の高騰とそれによる政情不安に対する脆弱性を検証する」では、新興国においては消費者物価指数（CPI）に占める食料品の割合が相対的に大きいため食料品価格の上昇がインフレ高騰につながりやすく、これによる社会不満の高まりが政情不安をもたらす可能性がある中、各新興国がどの程度こうしたリスクに晒されているのかを検証した。今回のレポートでは、足元の状況を確認しつつ、新たな変数を使って、こうしたリスクに脆弱な新興国を再検証する。

＜結論＞

- PGIM フィクスト・インカムの分析によると、社会経済の状況と政治的安定性の間に明確な関連性があることが示唆される。
- 新興国の信用力分析の一環として、食糧安全保障などの変数にも注意を払いつつ、社会経済および政情について注視することが重要だと考えられる。
- 食糧安全保障を巡る問題を抱えておらず、政治的安定性も高い国には、レラティブ・バリューに基づいた潜在的な投資機会があると PGIM フィクスト・インカムは見ている。

＜主なポイント＞

- ロシア・ウクライナ紛争が継続する中、食料品と肥料の価格はピーク時よりも下落しているとは言え、依然として歴史的な高水準にある。また、不安定な原油価格と悪天候による不作も食料品価格を押し上げる要因となっている。
- 歴史的に高水準な食料品価格によって家計の購買力は低下している。低下した購買力の回復には所得の増加が必要となるが、今後数ヵ月にわたって新興国経済は減速すると予想され、十分な所得増を見込みにくい。こうした中、物価高騰、不十分な所得水準、食糧安全保障を巡る不確実性を背景とした社会的不満の高まりを受けて、新興諸国は財政出動、債務再編、更には政権交代が起こる可能性がある。
- こうした社会的な課題に最も脆弱な新興国を特定するため、PGIM フィクスト・インカムは各国のインフレ率、失業率、食料不安を指標化し、これらと世界銀行による「政治的安定と暴力の不在指数」を変数として分析を行った。この分析によると、最も脆弱な新興国の中には複数のアフリカ・サハラ砂漠以南の国が含まれ、最もリスクの低い新興国の中にはコスタリカやカタールなどが含まれた。

データの出所(特に断りのない限り)：PGIM フィクスト・インカム、2023 年 4 月 17 日現在。

当レポートは、金融機関、年金基金等の機関投資家およびコンサルタントの方々を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した”No Country Thrives on an Empty Stomach”をPGIMジャパン株式会社が要約したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SEC の登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料で言及されている個別銘柄は例示のみを目的とするものであり、特定の個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したものですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルーデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人投資信託協会
PGIMJ98625